

根白報

人口のうごき

(4月1日現在)	(3月中)
人口・33,782	出生・41
男・16,240	死亡・30
女・17,542	転入・91
世帯・6,439	転出・243

43年度一般会計

7億9,111万円の使いみち

「一般会計7億9,111万円という大型予算案」などを審議する3月定例会市議会は、3月14日から27日までの14日間開かれ、43年度一般会計、同特別会計、同企業会計をそれぞれ原案どおり可決しました。

今年度一般会計の当初予算額7億9,111万円

は、前年度当初にくらべて2億2,267万円多くさらに前年度の最終予算額よりも7,599万円多い予算です。

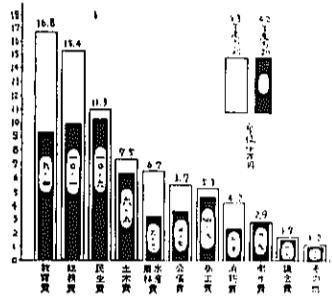
このようになってない大型予算になったのは、新市庁舎、青年教育センター、プール、消防庁舎などの大きな建設に取り組むためです。

投資的経費は一挙に三倍

市庁舎敷き地
教育センター
などが影響

一般会計の支出総額は七億九千九百一十万円を投資的経費と消費的経費などの性質別に分けると、消費的経費は、市庁舎敷き地、教育センター、青年教育センター、プール、消防庁舎などの建設や道路舗装などにかかる経費をい、今年度は二億四千二百三十三万円、総予算の三〇・六割を占めています。これは、前年度当初の三倍以上にふくれ上がっています。

一方、消費的経費と



教育にプールを建設

教育費は一億六千八百四十八万円、予算総額の二一・三割と最高の割合を占めています。これは昨年の当初予算より七千四百三十九万円も多くなっています。このように二倍近い予算となったのは、市民が長い間待ち望んでいた「青年教育センター」の建設費

古川、諏訪ノ木線を新設

土木費は七千五百一十万円、予算総額の九・五割を占めています。これは昨年の当初予算より九百五十一万円多くなっています。

土木費のうち、約半分の三千六百九十二万円が道路の新設改良費です。この中で大きなものは、白根蔵主線の舗装六百九十九万円、市街地舗装工事四百六十万円、高井ろっ骨道路改良費四百万円、茨倉根地区上茨、小林地区田尾、根岸地区上塩俣地内の改良費三百八十八万円などです。そのほか都市計画費には、昨年度に引き続いて諏訪ノ木七軒線（通称恵光寺道路）の舗装に六百万円、新設の道路として古川諏訪ノ木線の用地買収費に四百三十二万円などがあります。もう一つ新しいものとして、排水基本計画の検討があり、すでに現地の測量

消防新庁舎を建設

議会総務課消防費

議会議費は千七百九十九万円、昨年度と同額で、この大部分が議員報酬と職員給です。総務費は一億五千四百七十六万円、昨年度の当初予算より五千三百二十六万円多くなっています。このほとんどは、三課、企画審議室、総務課、市民課、税務課、監査委員会事務局、選挙管理委員会事務局などの人件費と事務費が占めています。また今年度中に



処理能力が倍増したゴミ処理場

フル運転で一日三十トン
生まれ変わったゴミ処理場

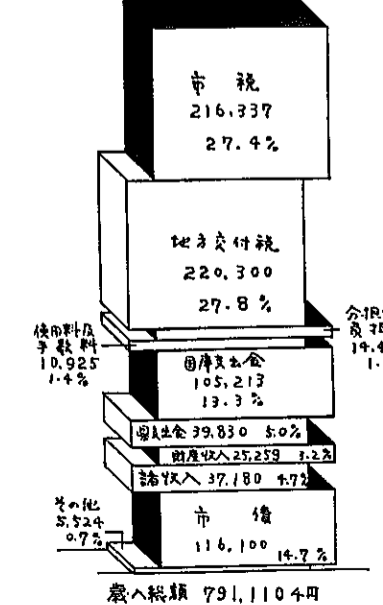
三十九年に完成した市のゴミ処理場は、一日十五トンの処理能力しかありませんでしたが、昨年八月から行なわれていた「つけ足し工」の完成で一日三十トンのゴミを処理できる処理場として生まれ変わりました。

このつけ足し工事は、市三カ村（白根市、味方村、月瀨村、中之口村）衛生処理組合が行なったもので、つけ足す前の市の処理場は、四月一日付で同組合へ移管されました。いままで組合立で広域行政が行なわれていたのは、伝染病舎、し尿処理場、火葬場の三つでしたが、そこへ新しくゴミ処理場が加わり、四つになりました。

茨倉根地区の構造改善事業

農業費は六千七百三十三万円、昨年度の当初予算の二倍になりました。このように多くなったのは、吉沢市長の施政方針にもあるように、農業構造改善事業に着手して基盤の整備と近代化施設の導入を強力におし進めようとするを算化したためです。具体的には、茨倉根地区の整備事業に二千六百三十九万円、集団稲作改善実践事業に百二十万円、農業振興融資の委託金や各種融資の利子補給に五百六十六万円、後継者育成のために興農館高校生への奨学金四十五万円などがあります。

一方、商工費は五千三百一十万円、昨年度の当初予算より四百九十九万円多くなっています。この中には、店舗改装を促進するため、四十年度から三カ年計画で実施してきた「小企業振興資金」を引き続き行なうための預託金や産業育成資金などの各種融資と利子補給に二千八百六十三万円、商工会への助成金百二十万円、店舗改装の診断、技術の修得、販路の調査などに二十五万円、風合関係に六十一万円などがあります。今年度から新しく取り組むものに「消費者行政」があります。これは、最近の販売競争の激化、誇大宣伝の弊害、物価の上昇などで住民の消費生活が圧迫されているので、消費者の保護、消費者教育などを行政府に取り入れようというも



入収入

それでは収入総額の七億九千九百一十万円を各項目別に説明しましょう。左のグラフと見くらべながらお読みください。

市税の二億一千六百三十三万円は、昨年度の当初予算より三千三百八十万円多く見込んでいます。これを各税金ごと

保育施設を充実

民生費は一億一千三百九十九万円、予算総額の一四・四割を占めています。これは昨年度の当初予算より七百万円多くなっています。

今年度は、保育所の新設という大きな事業はありませんが、保育所の施設設備を充実させるための補修や備品購入に百十八万円が計上されています。このほか、村松老人ホームには、八人の老人の委託料百七十七万円、同老人ホームへの負担金五十三万円、五泉市にある精薄施設「ふなおか学園」への負担金四十四万円、老人クラブへの補助金五十六万円、遺族会への補助金二十七万円、老人の健康診断委託料二十一万円、生活保護扶助費四十四万円などが計上されています。

諸収入の三千七百十八万円の中には、各種貸し付け金の元利回収金三千三百四十四万円などが見込まれています。

茨倉根地区の構造改善事業に着手

のです。予算的には消費者のしおりやちらしなどに十万円が計上されています。

民生費は一億一千三百九十九万円、予算総額の一四・四割を占めています。これは昨年度の当初予算より七百万円多くなっています。

今年度は、保育所の新設という大きな事業はありませんが、保育所の施設設備を充実させるための補修や備品購入に百十八万円が計上されています。このほか、村松老人ホームには、八人の老人の委託料百七十七万円、同老人ホームへの負担金五十三万円、五泉市にある精薄施設「ふなおか学園」への負担金四十四万円、老人クラブへの補助金五十六万円、遺族会への補助金二十七万円、老人の健康診断委託料二十一万円、生活保護扶助費四十四万円などが計上されています。

に分けると左の小さなグラフのようになります。

地方交付税の二億二千三百三十八万七千七百円多く見込んでいます。

国庫支出金の一億五千二百一十万円は、昨年度の当初予算より三千八百八十八万円多く見込み、この中には生活保護負担金三千二百四十八万円、減税補てん補給金二千四百八十八万円、青年教育センター整備費千五百万円などが含まれています。

県支出金の三千九百八十三万円は、昨年度の当初予算より見込んだもので、この中には茨倉根地区樹園地整備補助金二千六百三十九万円などがあ